

いえ ひと いっしょ ふじさん しろ
家の人と一緒に富士山について調べよう！

むずかしいことばやかんじのよみかたは、ホームページで調べてね！

世界遺産—富士山の構成資産

富士山は、平成25年（2013年）「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」という名称で、世界遺産（文化遺産）として登録されました。

世界遺産の価値を具体的に証明するものとして、国の25の文化財が選ばれています。この文化財のことを「構成資産」と言います。

富士山と信仰



室町時代の富士山への登拝の様子が描かれています。

『絹本着色富士曼荼羅図』（富士山本宮浅間大社蔵）

昔から日本人は、噴火を繰り返す富士山を神がすむ山としておそれ、噴火をしないように富士山の麓に浅間神社を建てました。噴火活動がおさまってきた平安時代後期になると、富士山は、日本古来の山岳信仰と密教などが一緒になった「修験道」の道場となりました。その後、室町時代後半には、修験者とともに一般庶民も登拝するようになり、戦国時代に長谷川角行が、新たな富士山信仰の教義（教え）をまとめたと伝えられています。角行の教義は弟子へと引き継がれ、江戸時代中期には「富士講」として関東を中心に大流行し、多くの人々が富士登山や富士五湖等の霊地へ巡礼を行うようになりました。明治になると女性の山頂登山も解禁、鉄道や道路の発達等により、多くの登山者が山頂を目指ようになりました。

富士山と芸術



葛飾北斎
『富嶽三十六景』より
「凱風快晴」

富士山はその美しい姿から、様々な作品の題材となってきました。文学では、8世紀にまとめた日本最古の歌集『万葉集』にも、富士山を詠んだ作品が複数あります。その中のある作品では、富士山は国の鎮めの神であり、宝であると詠まれています。また『竹取物語』『古今和歌集』『伊勢物語』等の古典作品をはじめ、松尾芭蕉や与謝蕪村の俳句、明治時代以後の夏目漱石や太宰治の作品にも取り上げられています。

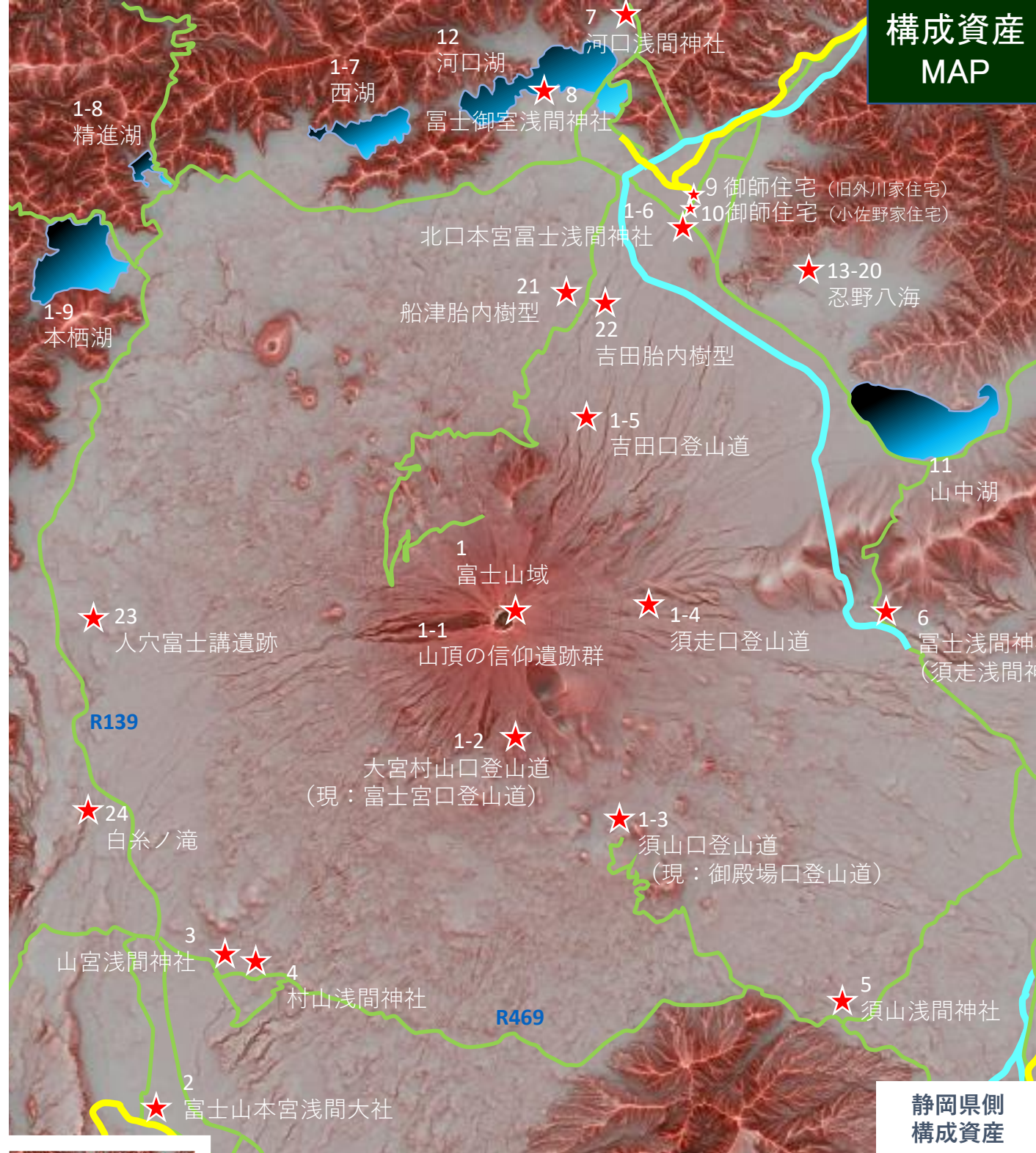
美術では、江戸時代に制作された浮世絵が知られています。葛飾北斎の『富嶽三十六景』や歌川広重の『不二三十六景』『東海道五拾参次』では、色々な場所から見た富士山が描かれています。これらはゴッホやモネなど、ヨーロッパの印象派の画家たちにも影響を与えました。また明治時代以後、日本画や写真でも、数多くの富士山を題材にした作品が生まれています。

ポケットガイドの作り方

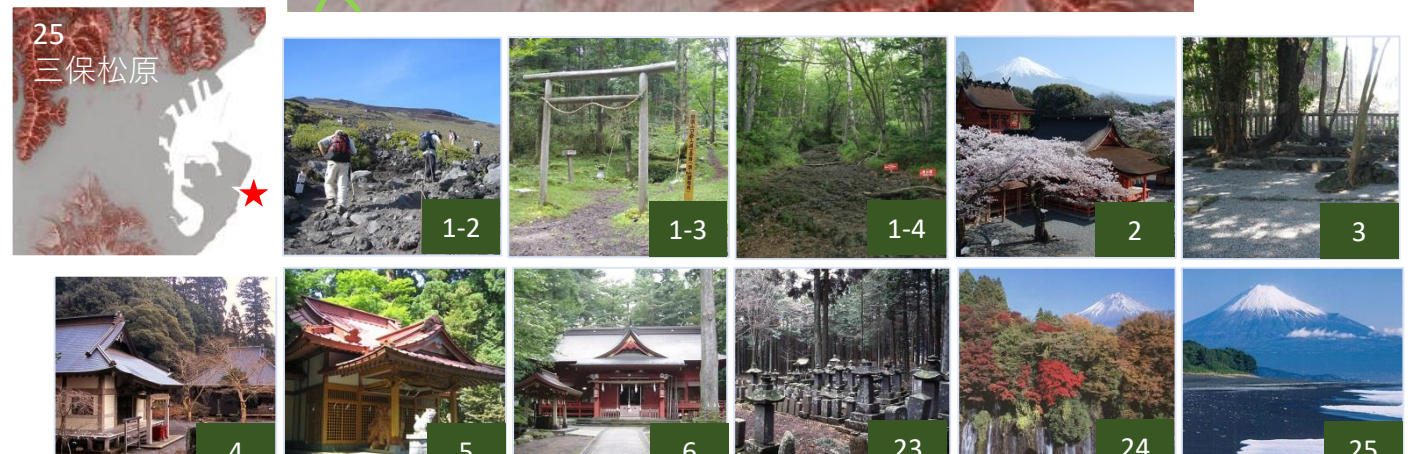
裏面は、山梨県側構成資産のポケットガイドになっています。



構成資産 MAP



静岡県側構成資産



| No. | 構成資産(構成要素) | 所在地 |
|-----|------------------|-----------|
| 1-1 | 山頂の信仰遺跡群 | 静岡県・山梨県 |
| 1-2 | 大宮・村山口登山道(富士登山道) | 静岡県富士宮市 |
| 1-3 | 船津胎内登山道 | 静岡県御殿場市 |
| 1-4 | 港口登山道 | 静岡県小山町 |
| 1-5 | 吉田登山道 | 山梨県富士吉田市 |
| 1-6 | 北口本宮富士浅間神社 | 山梨県富士吉田市 |
| 1-7 | 西湖 | 山梨県富士河口湖町 |
| 1-8 | 精進湖 | 山梨県富士河口湖町 |
| 1-9 | 本栖湖 | 山梨県身延町 |
| 2 | 富士山本宮浅間神社 | 山梨県富士宮市 |
| 3 | 山梨浅間神社 | 山梨県富士宮市 |
| 4 | 村山浅間神社 | 山梨県富士宮市 |
| 5 | 須山浅間神社 | 山梨県御殿場市 |
| 6 | 河川浅間神社(須山浅間神社) | 山梨県富士宮市 |
| 7 | 河口湖浅間神社 | 山梨県富士河口湖町 |
| 8 | 富士山本宮浅間神社 | 山梨県富士河口湖町 |
| 9 | 御師住宅(旧外川住宅) | 山梨県富士吉田市 |
| 10 | 御師住宅(旧小佐野住宅) | 山梨県山梨市 |
| 11 | 山中湖 | 山梨県山中湖村 |
| 12 | 河口湖 | 山梨県富士河口湖町 |
| 13 | 忍野八海(忍野池) | 山梨県忍野村 |
| 14 | 忍野八海(お釜池) | 山梨県忍野村 |
| 15 | 忍野八海(龍巻池) | 山梨県忍野村 |
| 16 | 忍野八海(鏡子池) | 山梨県忍野村 |
| 17 | 忍野八海(湧池) | 山梨県忍野村 |
| 18 | 忍野八海(龍長池) | 山梨県忍野村 |
| 19 | 忍野八海(鏡池) | 山梨県忍野村 |
| 20 | 忍野八海(湯池) | 山梨県忍野村 |
| 21 | 船津胎内樹型 | 山梨県富士河口湖町 |
| 22 | 吉田胎内樹型 | 山梨県富士吉田市 |
| 23 | 八ヶ岳十編遺跡 | 山梨県富士宮市 |
| 24 | 白糸ノ滝 | 山梨県富士宮市 |
| 25 | 三枝炊屋 | 静岡県静岡市 |

構成資産/構成要素 一覧表 (HPにもあります)

世界遺産 富士山

構成資産 ミニブック

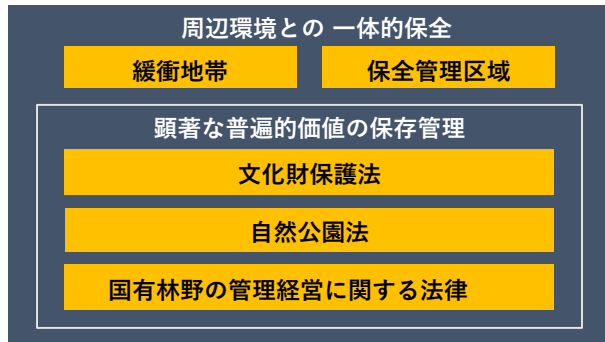


撮影:富士山レンジャー

山梨県立富士山世界遺産センター

世界文化遺産 富士山の保全

山梨県では、(法律や計画をもとに、)世界遺産富士山の顕著な普遍的価値を多くの人に知ってもらい、未来に残せるように取り組んでいます。また、富士山周辺の環境を守るために、世界遺産になった所と人々の暮らす地域との間に、緩衝地帯と保全管理区域と呼ばれる地域をつくりました。



山梨県では、富士山やその周辺地域の自然保護と適正な利用の強化を目的に、富士山レンジャーを創設しています。



お問い合わせ先
山梨県立富士山世界遺産センター
 〒401-0301
 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
 TEL: 0555-72-2314 FAX: 0555-72-2337
<http://www.fujisan-whc.jp/>

構成資産/構成要素 一覧表

世界遺産富士山の価値にとって特に重要な地域で、標高が約1500m以上の範囲です。それは、神聖な場所との境界のひとことであった「馬返」より山頂側で、信仰の上で大切なところであること、多くの芸術作品の題材になったことが挙げられます。

富士山で登拝が開始され北口本宮富士浅間神社へと山頂に寺院を造り仏像を奉納して、山頂での登山道です。14世紀後半には、宿坊もでき、富士講が盛んになった18世紀現在でも、多くの登山者や火口を回る「お鉢巡り」を行っています。

「富士五湖」は、上の5つの湖の総称です。多くの芸術作品と関わりも深く、どの湖も景勝地となっています。「逆さ富士」をはじめ、富士山とともに絶景が見られ、紙幣の図柄にもなっています。その成り立ちも富士山と深く関係し、富士山とは切っても切り離せない存在です。

構成資産/構成要素 一覧表

富士山の遷拝所を起源とし、1480年には「富士山大鳥居」が建立された。富士講とのつながりが強く、1730年代に富士講の指導者である村上光清の奇進によって、建造物群の修復工事が行われました。

「貞観の噴火(864年)」のときに、富士山の北側に初めてつくられた浅間神社と伝えられています。浅間神社のある河口は、富士登拝が広まった室町時代から江戸時代まで御師集落として発展してまいりました。

9世紀の初めに富士山中に最も早く建てられたと伝えられています。山中にあった本殿は、1970年代に麓の地に、そのまま移されました。

1617年に長谷川角行が富士北麓に溶岩樹型を発見し、浅間大神を祀りました。1673年に富士講信者が、現在の船津胎内を定め、1892年には新たな「胎内」として吉田胎内を信仰の場としました。洞内には、木花咲耶姫命(このはなさきやひめのみこと)が祀られています。

※ 22吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません。